

討できないか。

答 企業立地推進、雇用創出や産業振興を図るため、各種奨励金の交付により企業支援を積極的にやっている。また、経済団体、大学、行政、民間団体、金融機関が連携し支援する行田エコノミックゲーディング推進協議会を設置し、きめ細やかな支援に取り組んでいる。今後、行田創生に向けて、本市の特色を生かした行田ならではの取り組みを総合的に推進していく。

〔その他の主な質問〕
○障害者等の就職、福祉支援

市民の健康

特定健診とがん検診の促進

充実について

斉藤 博美
(日本共産党)

●特定健診とがん検診

問 国で胃がんの検診に「胃内視鏡検査」が推奨された。本市においても一次検診で導入すべきではないか。高齢者に負担のかからないABCリスク検査も導入できないか。

答 国で従来のレントゲン検査に加え、胃内視鏡検査の迫

加を推奨しており、本市でも検討していく。ABC検査は、死亡減少効果を示す証拠が不十分で導入に至っていない。

●産科医療の充実について

問 産科医が大変不足している。市内でお産を扱う病院が1件しかない。市内の産科の状況についての考えを教えてください。

答 本市の産科医療体制は大変危機的な状況という認識。病院の継続に必要な支援を行い、市内で安心して出産できる産科医療機関の確保が強く求められていると考える。

●不妊・不育症治療の支援

問 本市の不妊治療の補助対象条件に730万円未満の所得制限があるが、幅広い方に受けていただくために撤廃できないか。また、男性の不妊治療助成も検討できないか。

答 県の審査が行われた方に対して補助があるため、県と同様の所得制限となる。男性不妊治療は、各自自治体の取り組み状況を収集して検討していく。

〔その他の主な質問〕

○地元建設業者の支援策

○住宅リフォーム助成制度

安心安全

安全な街づくり 自転車通行帯設置 と防災無線の活用

柴崎登美夫
(新政策研究会)

問 本市では、他市に先駆けて自転車安全利用促進条例を平成27年6月に施行した。自転車安全利用の意識向上に役立つ条例として高く評価するものだが、市民が自転車を利用する足として利用することで商店街への立ち寄りが容易になるなどメリットは大きいと考える。そこで、現在自転車通行帯が設置されているJR行田駅からの延長や市内中心部、観光スポット周辺までの自転車通行帯等の設置計画は。

答 市内に設定されている各種サイクリングコースとの連携を視野に入れ、道路利用者の安全性を考慮し、まちのにぎわいの創出につながるよう設置について関係機関とともに検討していく。

●防災無線の情報拡大を

問 本市防災行政無線では、本来の防災に加え、下校時の児童見守り、振込め詐欺等の

情報が注意喚起されている。全国各地で不審者により、子ども達や女性が被害に遭う事例が多く発生しており、防災行政無線で不審者発生情報を提供し地域住民が情報を共有することで、そのような被害を防ぐことができる有効な手段と考えるが、市の見解は。

答 これまでの運用を原則としつつ、安心安全なまちづくりの観点から、市民の生命に関わる緊急性のある重大な犯罪等が発生した場合は関係機関と協議の上、速やかに情報発信していく。

図書館行政

本の福袋について

二本柳妃佐子
(公明党)

問 借りた本がどんな本なのか、袋を開けてみてのお楽しみ。これは中身が見えないように袋の中に入れた本をセットにした福袋貸し出しセットです。新春の初売りなどでおなじみの福袋をまねて、普段は借りないようなジャンルの本との出会いを演出して、読

書の幅を広げてもらうことが狙いとなっています。図書館の福袋企画は、新鮮な取り組みとして、新春のほか夏休みや秋の読書週間など、全国的に広がっています。図書館事業の更なる充実と、読書活動推進のための新たな取り組みとして、本の福袋についての市の考えは。

答 テーマ展示やブックリストの作成、職員のお勧め本の紹介など、普段あまり読まないジャンルの本に出会う機会の提供に努めている。現在、実施時期や実施方法等について検討しており、引き続き実施に向けた準備を進めていく。

●婚姻届のサービスについて

問 最近では行政がオリジナルのご当地婚姻届を作成し、市をPRしている。葛飾区で



行田市立図書館